

B16 細胞チロシナーゼ活性阻害試験

マウス B16 メラノーマ細胞を用い、メラニン合成経路の律速酵素チロシナーゼ活性に対する作用を調べます。

試験方法

B16 細胞より抽出したチロシナーゼ粗酵素溶液を用い、ドーパを基質とした酵素反応により生成したドーパクロムの生成量を吸光度として測定致します。未処置対照のドーパクロム生成量に対する試験液添加時のドーパクロム生成量からチロシナーゼ活性を求め、チロシナーゼ活性に対する作用を調べます。

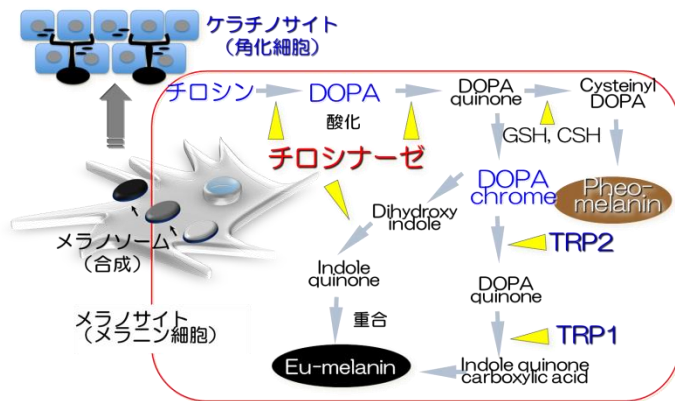


図-1 メラニン合成経路

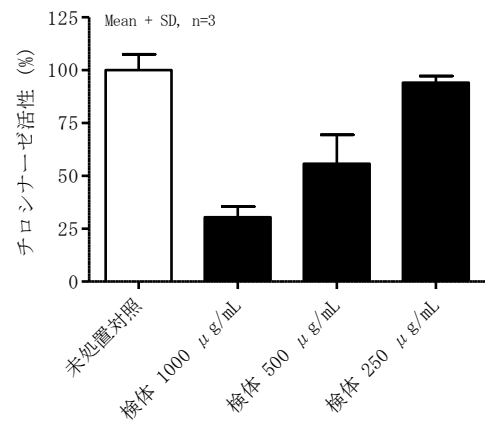


図-2 試験結果例

検体必要量

必要量：約 10 g (10 g 未満の場合はお問い合わせください。)

注意点

水に不溶の検体は試験をお受け出来ない場合がございます。また、いずれも検体数や検体の性状などにより変動致しますので、まずはお問い合わせください。

試験設計など、詳細につきましてもお気軽にご相談ください。